

## 特許協力条約

E P · U S

P C T

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)  
[P C T 18条、P C T 規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 2001-024	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(P C T / I S A / 2 2 0)及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 P C T / J P 0 1 / 0 2 4 2 0	国際出願日 (日.月.年) 26. 03. 01	優先日 (日.月.年) 25. 04. 00
出願人(氏名又は名称) 日本鋳鍛鋼株式会社		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (P C T 18条) の規定に従い出願人に送付する。この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 4 ページである。

この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

## 1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。  
 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。  
 この国際出願に含まれる書面による配列表

この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表

出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2.  請求の範囲の一部の調査ができない(第I欄参照)。

3.  発明の單一性が欠如している(第II欄参照)。

4. 発明の名称は  出願人が提出したものと承認する。

次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は  出願人が提出したものと承認する。

第III欄に示されているように、法施行規則第47条 (P C T 規則38.2(b)) の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

## 6. 要約書とともに公表される図は、

第 1 図とする。  出願人が示したとおりである。

なし

出願人は図を示さなかった。

本図は発明の特徴を一層よく表している。

## 第Ⅰ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見（第1ページの2の続き）

法第8条第3項（PCT 17条(2)(a)）の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1.  請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2.  請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3.  請求の範囲 \_\_\_\_\_ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

## 第Ⅱ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見（第1ページの3の続き）

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

請求の範囲1-14, 26及び32-33は、使用済み核燃料集合体や放射線に汚染された物質を収容して搬送、貯蔵するための放射性物質格納容器及びその製造方法についての発明概念である。また、請求の範囲15-22は、熱間拡張成型用の金属ビレットについての発明概念である。また、請求の範囲23-25, 27-29, 30-31, 34-37, 38, 42-45, 46及び50-58は、容器、底付容器の製造装置、容器の製造方法、筒物または容器の製造方法、厚物金属製円筒物または円筒容器の熱間プレス成形法についての発明概念である。そして、これらの発明の間に、特許協力条約に基づく規則13の意味における特別な技術的特徴を含む技術的な関係を見いだすことはできない。よって、請求の範囲1-14, 26及び32-33と、請求の範囲15-22と、請求の範囲23-25, 27-29, 30-31, 34-37, 38, 42-45, 46及び50-58とは発明の単一性の要件を満たしていない。

1.  出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2.  追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3.  出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4.  出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

## 追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

- 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。  
 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

## 国際調査報告

国際出願番号 T/JPO1/02420

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. C1' G21F5/00, G21F9/36, G21C19/32, B21K21/06  
B21J5/00

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. C1' G21F5/00, G21F9/36, G21C19/32, B21K21/06  
B21J5/00

## 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1940-1996年  
 日本国公開実用新案公報 1971-2001年  
 日本国登録実用新案公報 1994-2001年  
 日本国実用新案登録公報 1996-2001年

## 国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y & A	JP, 2000-009897, A(三菱マテリアル株式会社) 14.1月.2000(14.01.00), 請求項1, 段落0016-0019, 図1, 4 (ファミリーなし) 19852537	1-11, 23-29, 32-33 1-58
P, Y	DE, 49882537, A(Mannesmann AG) 18.5月.2000(18.05.00), 請求項1, 第1-3欄, 図1-4	23-58
& P, A	& JP, 2000-190007, A, 請求項1, 段落0006-0012, 図1-4	1-58

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&amp;」同一パテントファミリー文献

## 国際調査を完了した日

10.07.01

## 国際調査報告の発送日

24.07.01

## 国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

山口 敦司

2T 9216

印

電話番号 03-3581-1101 内線 3225

C (続き) 関連すると認められる文献		関連する 請求の範囲の番号
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	
E, Y & E, A	JP, 2001-0832810, A(三菱重工業株式会社)30.3月.2001(30.03.01), 段落0007, 0030-0031, 0050-0059, 図1- 3, 9-11(ファミリーなし)	7-8, 27, 32-33 1-58
Y & A	JP, 51-046670, A(曙ブレーキ工業株式会社)21.4月.1976(21.04.76), 第2頁左下欄第14行-右下欄第15行, 図3-5(ファミリーな し)	12, 23-25, 30-31 1-58
Y & A	JP, 03-106532, A(株式会社クボタ)7.5月.1991(07.05.91), 全文, 全 図(ファミリーなし)	12-13, 23-24 1-58
A	日本国実用新案登録出願 63-084828号 (日本国実用新案登録出願公 開 02-006135号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影し たマイクロフィルム(アイダエンジニアリング株式会社)16.1月.199 0(16.01.90), 全文, 全図(ファミリーなし)	1-58
A	JP, 54-127859, A(株式会社日本製鋼所)4.10月.1979(04.10.79), 全 文, 全図(ファミリーなし)	1-58